

編集発行責任者 吉田 和彦

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>E-mail:[aotokouhou@jikei.ac.jp](mailto:aotokouhou@jikei.ac.jp)

## INDEX

01. 診療科紹介(外科)
02. 診療科紹介(総合内科)、認定看護師の取り組み
03. 連携病院のご紹介
04. 2019年度初期研修医紹介、公開セミナー、部署紹介、パーキンソン病市民フォーラム開催のご案内

## 診療科紹介〈外科〉

## —— 外科って、何の治療している科なの? ——

**2** 018年度の実績は、平均入院患者51名、手術件数1095(うち緊急手術が170)件、平均在院日数11.5日でした。手術内訳は、がん領域が主たる疾患ですが、乳がん手術が200件超え、肺がん手術は25件で若干減少、胃がん手術も50件と減少しましたが、鏡視下手術率が20%以下から50%に達しました。大腸がん手術は安定しており140件(鏡視下率81%)、肝胆膵領域では、膵がん(IPMN含む)27件、肝がん(転移性肝がん含む)33件と上昇いたしました。小児外科は、100件を堅持、ヘルニア、アッペは、約200件でありました。外科のコンセプトは3S(Simple, Smile, Specialism)とquick decision makingのもと、日々、各々が個性を発揮して研鑽しています。就業内容は、月木7:30~、火水金:8:00~、土:8:30~の朝カンファレンスで、申し送り、症例カンファレンス、適宜MM、抄読会、予演会を行い、月一度のスタッフミーティングでは、“純粋な意見交換の場”とし、わだかまりを解消、目標設定数値を共有認識し、随時PDCAサイクルを回していきながら、切磋琢磨しています。

医療センターの患者さんの80%を占める葛飾区の人口は現在46万人、2025年頃までは現在と同程度の人口規模で推移すると見込まれていますが、それ以降は漸減、年少人口は5万人で推移しますが、老年人口は10万から12万へ、生産年齢は29万から26万人へ減少すると見込まれます。そこで、2019年度から、EPASSを活用した高齢者手術症例のリスク評価、手術管理、緩和ケア等々に積極的に外科が参画する予定でございます。臨床研究等々も、近隣に立脚したテーマを拾い上げながら計画していきたいと考えております。

最後に、葛飾医療センターは、「地域と共生し進化・創造し続ける病院」総合診療体制・救急医療体制を強化し地域密着型病院を目指す。を、モットーにしております。今後とも皆様に、より一層のご鞭撻をお願いする次第でございます。

外科  
小川診療部長

## 診療科紹介〈総合内科〉

**総**

総合内科は平成20年4月に作られました。私たちの診療は、細かく専門にわかれた医療ではなく、全身の健康問題を解決する全人的医療の実践することを目指しています。すなわち、慈恵医大の「病気を診ずして、病人を診よ」という建学の精神にもとづいた医療を実践することと考えています。現在、医師2人と研修医2人（研修医1人、レジデント1人）がいます。スタッフの人数は少ないですが活発に活動しています。

総合内科の診療には、初診外来診療と入院診療があります。初診外来では何科にかかるべきか分からない患者さんを診療し、適切な専門科にご案内します。例えば発熱、体重減少、関節痛、食欲不振など、原因不明の病気の診察を多く行っています。診察と検査を行い、病気の原因や状態を調べて適切な専門科に橋渡しをします。いわゆる「病院の入口」です。入院においては多くの患者さんを受け入れることができませんが、感染症（肺炎など）、脳梗塞、膠原病、糖尿病といった疾患の診療を行っています。当院に専門医がいない病気の初期治療や多くの人がなりやすい内科疾患の初期治療をしています。また、専門科に入院されている患者さんに対して、併診といって専門科の先生と共に行う診療もしています。先進的な検査や、新しい医療を行うことはありませんが、細かく問診することや丁寧に身体診察を行うことを大切に、患者さんの診察を行なっています。

そして、私たちの病院は大学病院という教育機関であることから若手医師の教育もしています。特に、医師になってすぐの「研修医」は、総合内科で研修し、内科診察の基本を学びます。さらに総合内科はプライマリケア認定医、総合診療専門医、総合内科専門医、糖尿病専門医といった認定施設であります。卒業して3-5年目の「レジデント」という医師への教育にも力を入れています。

令和2年1月、名称が「総合内科」から「総合診療部」に変わりますが、今まで通り内科を基礎とした診療を継続してまいります。



総合内科  
根本昌実診療部長

## 認定看護師の取り組み

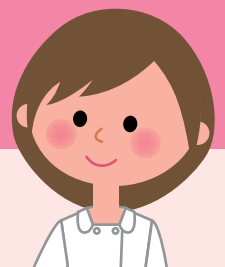
小児救急看護認定看護師は、『子どもの最善の利益』を尊重した看護を提供し、子どもの健やかな成長発達のために子どもと家族を含めた支援をしていく看護師です。

「小児救急」という名称から、急変時の対応に特化していると思われるかもしれませんが、それだけではありません。子どもの発達段階に応じた的確なアセスメントを行い、トリアージや適切な看護を提供したり、子どもが主体的に治療や検査、処置を受けられるように支援（プレバレーション）したり、子ども虐待や育児不安があるご家族への対応をしたりすることが役割となります。

### ●具体的な活動

- ・ FAST (family support team) チームに参画。子どもの虐待対応についてのスキルアップ講習の実施
- ・ プレバレーションやトリアージ、育児支援、家庭での対応（ホームケア）、一次救命処置（PBLIS）などを含む看護ケアの提供
- ・ 依頼があった部署への勉強会の実施（トリアージ・フィジカルアセスメントなど）

子ども達の笑顔を支えられるよう取り組んでいきたいと思っています。  
ケアのことで困った時は、お気軽にご相談下さい！ <川口 美貴子>

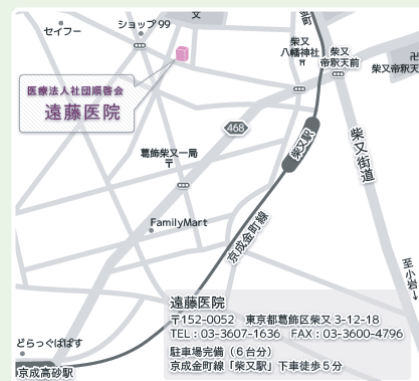




## 連携病院のご紹介

### 遠藤医院 院長 遠藤 啓一郎

葛飾区柴又で内科・小児科を開業しております。お気軽に相談できる窓口、かかりつけ医として診療を行っております。昭和63年順天堂大学を卒業し消化器内科を専攻、平成9年より開業して22年経ちました。地域の病院・診療所への紹介など円滑な医療連携に努めております。開業当初に比べて高齢化が進む中、高齢独居で通院困難、認知症、生活が困難となる事例が多くなり疾患や生活の状況に応じた診療、往診、在宅診療も行っております。介護事業所との連携など生活支援につながるよう努めております。小児から高齢者、内視鏡検査・超音波検査、在宅医療から看取りまで幅広く行っております。最近では多国籍化が進みアジアの方々はもとよりアフリカや中東・南米出身のご家族も診ております。言葉は違っても求められていることは同じと、心の通う医療の大切さを感じます。またスタッフミーティングを行い「患者様に対する接遇」「予防接種の手順確認」「職員の安全管理」などについて話し合い風通しのいい診療所となるよう努めております。今後とも慈恵医大葛飾医療センターとの医療連携を通して地域貢献を行う所存です。



### 小澤病院 院長 小澤 康之

当院は葛飾区奥戸2丁目にある60床の療養病院です。昭和37年に開設し、地域医療に携わってまいりました。平成9年からは、高齢化社会の到来に備え、いち早く高齢者ケアを中心とする医療体制を整え、介護ケアの充実に努めてまいりました。時代の移り変わりとともに、医療を取り巻く環境は変化しておりますが、人々の健康に対する願いや、痛みや病気に対する不安は、変わることなく存在し続けています。健康的な生活を送れるようお手伝いしてゆくことが、私たちの役割だと考えています。常に、優しさと信頼のおける医療をモットーに地域の皆様がいつでも気軽に相談できる病院、安心して療養生活を送れる病院づくりを心がけています。当院で対応の困難な患者様は近隣の急性期病院を紹介させていただいております。また、急性期医療で安定した状態の患者様の受け入れも医療連携をさせていただき随時お受け入れしております。今後よろしくお願いたします。



気軽に相談できる  
安心して療養生活を送れる  
やさしさがわたしたちのキーワードです

## 2019年度初期研修医紹介

- 市川 沙弥：至らない点も多々あるかと存じますが、何卒よろしく願いたします。
- 沼田 雄：2年間よろしく願いたします。
- 櫻井 義大：初心を忘れず、実直に精一杯頑張ります。どうぞよろしく願いたします。
- 石黒 啓輝：一生懸命頑張りますのどうぞよろしく願いたします。
- 一志 将太：地域に根ざした医療を実践してゆきます。よろしく願いたします。
- 和地 亮門：精一杯頑張っていきます。よろしく願いたします。
- 町田 優樹：すこしでも貢献できるようにがんばります。よろしく願いたします。
- 古賀 董：患者さんに寄り添える優しい医師になりたいと日々精進しております。
- 稲村 崇志：地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯努力してまいります。
- 池谷 桃子：笑顔と元気を大切に、2年間精一杯頑張ります。よろしく願いたします。
- 根本 暉久：充実した2年間になるよう、精一杯頑張ります。
- 山井 卓磨：よりよい医療者になれるよう日々奮闘しております。よろしく願いたします。



前列向かって左から:古賀董・市川沙弥・池谷桃子・櫻井義大・山井卓磨・町田優樹  
後列向かって左から:石黒啓輝・沼田雄・稲村崇志・一志将太・根本暉久・和地亮門

## 公開セミナーを開催しました



2019年6月8日(土)に当医療センター5階講堂にて、第52回葛飾医療センター公開セミナーが開催されました。

**第1部:耳鼻咽喉科 渡邊 統星診療医員「いびき?無呼吸?それって何がアブナイの?」**

**第2部:精神神経科 山寺 亘診療部長「良い睡眠と悪い睡眠、よく眠れないとどうなるの?」**の演題でお話をいただきました。参加者は125名で参加者からの活発な質問もあり、大変有意義な時間になったと考えています。

▶▶次回は第53回2019年9月14日(土) 14:00~15:30予定

●テーマ:「もっと知ってほしい「肺がん」のこと / 肺がんにならないために、肺がんになったときに」

●演 者:1)呼吸器内科 吉田 和史 診療医員「たばこ、検診から肺がんの最新治療まで」

2)看護部 がん化学療法看護認定看護師 寺嶋 友美「がんかもと悩んだり、「がん」と診断されたとき まずは、私達と一緒に考えましょう」

## 部署紹介 事務部管理課



管理課 新保繁課長

葛飾医療センターの事務部門である「管理課」をご紹介します。管理課は、総務(人事・給与厚生・庶務・会計)、施設・用度より構成されております。医療法等による各種届出、補助金申請、職員の採用・退職等の人事及び労務管理、福利厚生、対外折衝、施設管理、秘書業務、病院全体の安全対策など、患者サービスから病院の管理・運営全般にわたる企画・立案・実行・検証まで、さまざまな役割を担っています。この他にも地域の方々向けの市民公開講座ならびにフロアコンサートの開催、近隣町内会との合同災害訓練へのボランティア派遣なども実施しております。私たち管理課は医師・看護師並びに各部署と連携・協働し、チーム医療の一員として皆様に安心して来院していただけるよう、また地域の皆様に信頼される病院をめざします。

## パーキンソン病市民フォーラム開催のご案内

日時	2019年10月26日(土) 9:30~11:30	参加費	無料	定員	500名(先着)
場所	かめありリリオホール(〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-26-1)	テーマ	「パーキンソン病の症状とその対策」		
司会	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科 診療部長 鈴木 正彦先生				
講演	①東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科 浅原 有揮先生「パーキンソン病を知ろう」 ②東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科 宮川 晋治先生 「日々を楽しく過ごすために~のみこみ(えんげ)を中心に~」 ③加圧×パーソナルトレーニングスタジオ 銀座TRUE 菅原 利之先生「めざせ!姿勢の改善」				
申込方法	詳細は下記へお問い合わせください	申込締切	10月14日(月) 必着		
申込先	〒110-0014 東京都台東区北上野二丁目23番5号 住友不動産上野ビル2号館4階 武田薬品工業(株)東京支店 浅草北営業所 FAX:03-5828-0510				
お問い合わせ	03-5830-4450 (9:00-17:00 / 土日祝日および当社休業日を除く)				